

近畿薬剤師合同学術大会2023共催シンポジウム開催について

講演日時：2023年2月5日(日) 11:55～13:05

開催形式：ライブ配信(視聴者数：156名)

テーマ：「医薬品の品質確保・安定供給に関する課題と対策について～流通の課題も踏まえ～」

座長：室井 延之 氏 (神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部 薬剤部長)

シンポジスト：

①鈴木 貴明 氏 (千葉大学医学部附属病院 薬剤部 准教授・副薬剤部長)

「ジェネリック医薬品の安定供給等について～病院の立場から考えること～」

②桐村 昌典 氏 (みなと薬局・一般社団法人京都府薬剤師会 常務理事)

「開局薬局の立場から見たジェネリック医薬品不足と対策について」

③山本 剛 氏 (厚生労働省医政局医薬産業振興・医療情報企画課ベンチャー等支援戦略室 室長)

「医薬品の安定供給に係る行政の取り組み」

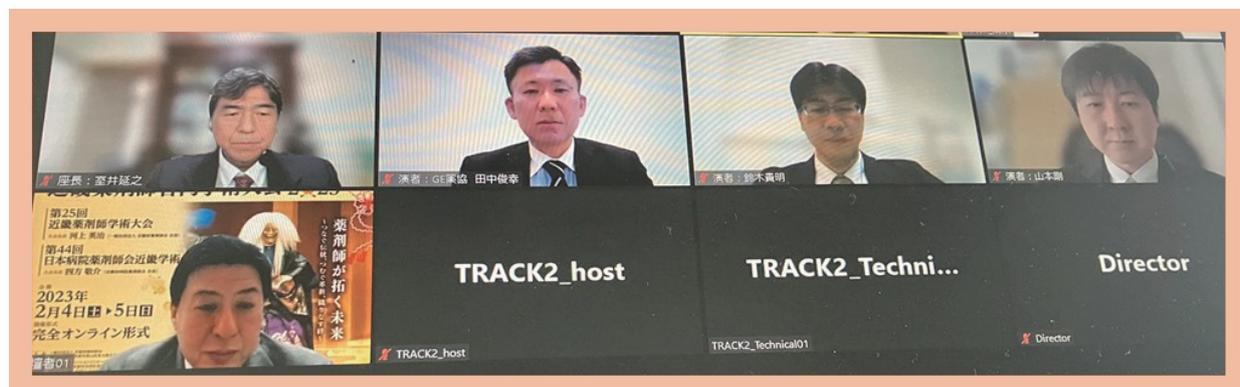
④田中 俊幸 氏 (日本ジェネリック製薬協会 広報委員会委員長)

「ジェネリック医薬品の信頼確保に向けた日本ジェネリック製薬協会の取り組みについて」

概要と感想：

相次ぐ医療用医薬品の供給不安問題をテーマに4名のそれぞれお立場から問題解決への取り組み等を中心にご説明頂きました。品質不正問題を発端に様々表面化されてきた構造的な問題を共通認識として捉え、その本質を考える機会創出につなげていきたいと考えます。

Live中には、視聴者の皆様から多数ご質問も寄せられ、本テーマに対する関心度の高さがうかがえました。



<シンポジウムの様子>

上段左から室井氏(座長)、田中氏(シンポジスト)、鈴木氏(シンポジスト)、山本氏(シンポジスト)、

下段左は桐村氏(シンポジスト)

寄せられた質問事項等(一部抜粋)：

- ① 臨床上の必要性から行政や関係学会等への相談はされなかったのでしょうか
- ② 供給不足の理由などはメーカー HP にはないことが多く、卸からの情報が確実です。
- ③ 患者さんへのお薬変更の説明も苦労しています。メーカーはペライチでの「供給できません」のお知らせのみでなく、患者さんへのお詫びの手紙を出して欲しい気持ちです。
- ④ 漢方も供給不足が続いています。包材のアルミが世界情勢の影響で入らないからと聞きました。本当でしょうか。
- ⑤ 国がジェネリック推進を勧める以上、国として議論すべきことであると考えます。
- ⑥ 先発医薬品、後発医薬品ともに薬剤不足に苦労している。マンパワーが少ない調剤薬局では、供給不足対応に大半の時間を費やしております。
- ⑦ 患者さん、医師への実感はそれほどでもないようです。感冒に対する薬のみならず、供給できない薬剤があることを周知する体制も必要と考えます。周知と協働について政策に対する働きかけをお願いしたい。